

えだまめの抑制栽培に適した 品種および栽植方法の選定

要約

ゆかた娘を 8 月 12 日頃、サヤムスメ、莢音、おつな姫、初だるまを 8 月 19 日頃には種し、栽植方法は移植にすることで、10 月に高品質で安定した収量を得ることができる。

○ 展示のねらい

高単価を狙える 10 月出荷に適した品種および栽植方法を選定する。

○ 主な成果

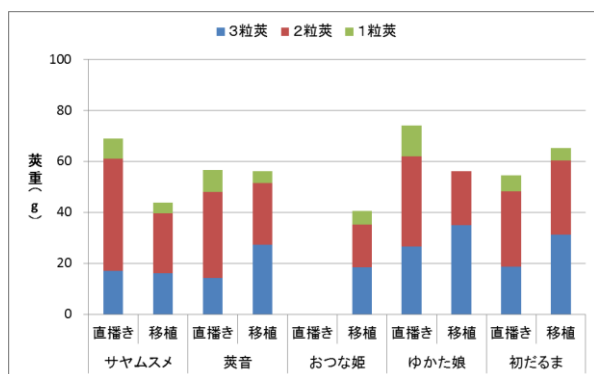


図 1 8 月 12 日は種における規格別収量

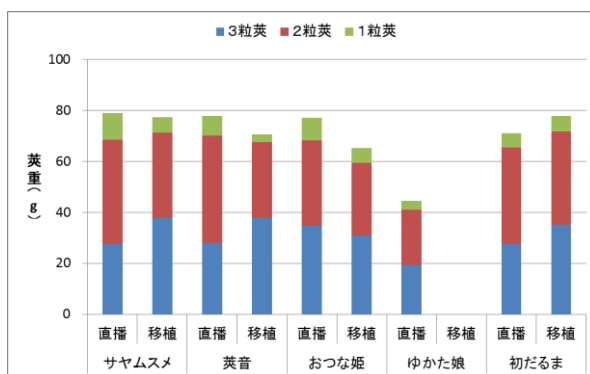


図 2 8 月 19 日は種における規格別収量

注 1 8 月 12 日は種は白マルチを使用し、10 月 17 日に収穫、8 月 19 日は種は黒マルチを使用し、10 月 31 日に収穫した。

注 2 8 月 12 日は種のおつな姫（直播）および 8 月 19 日は種のゆかた娘（移植）については、発芽不良により調査株が不足したため調査を行わなかった。

は種時期については、8 月 12 日は種に比べ、8 月 19 日は種で収量が高い傾向だった。8 月 12 日は種については、ゆかた娘、8 月 19 日は種については、サヤムスメ、莢音、おつな姫、初だるまが適する品種と考えられた。栽植方法については、直播きに比べ移植で 3 粒莢の発生が多く品質が高かった。

○ 今後の方向性

害虫発生の多い時期の栽培となり、農薬散布の負担が大きいことから、防虫ネットを活用した栽培を推進し、安定生産に向けた支援をしていく。また、手作業では収穫、調整に労力がかかることから、産地化のためには脱莢機等の導入を検討する必要がある。

実施機関：芳賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：真岡市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315